



かきうち はる 垣内 珀琉さん

平成18(2006)年生まれ、西宮市出身
 平成31年 苦楽園小学校卒業
 令和4年 苦楽園中学校卒業
 令和4年 日本スケート連盟強化選手に選ばれる

ジュニアグランプリシリーズ	チェコ大会8位
ジュニアグランプリシリーズ	リンツ大会8位
ジュニアグランプリシリーズ	ブダペスト大会3位
全日本ジュニア選手権	4位
インターナショナルチャレンジカップ	オランダ大会2位



編集・発行: 苦楽園地域コミュニティ協議会 TEL:74-6601

ま ち の 宝 人 — 垣内 珀琉さん

銀盤の上で見た初夢は、金色に輝いていました。

西宮から世界へ羽ばたこうとしている銀盤の貴公子、垣内珀琉さんにインタビューしました。

—いつからフィギュアスケートを—

3歳から始めました。幼稚園に入る前、非常に人見知りだった私を心配した母が、このままではダメだと思い、いろいろな教室に通わせてくれました。その中で一番楽しそうにしていたのがスケートだったそうです。4歳から関西大学の教室で

本格的にスケートを始めました。その当時の関大は高橋大輔選手、織田信成選手の全盛期で、彼らの姿を見て、スケート熱が一層高まりました。

—家族の応援も—

本格的にスケートを始めてからは、少しの時間も無駄にすることなく、移動中の車の中で母の手作り弁当を食べています。特にホルモンのモツが好きです。また家にはフォームをチェックするために、祖父が壁一面に鏡を設置してくれました。

—普段特に注意していることは—

食事と体調管理です。スケーターにとって体重が増えることは致命的で、けがにつながるし、ジャンプの高さにも影響してきます。

食事に関しては母が栄養士さんと相談しながら作ってくれます。本当は甘党で、イチ



華麗なスケートティング

ゴ系のドーナツが好きなんです。(笑)。

—将来どんな選手に—

憧れはやはり、高橋大輔さんです。欲張って言わせてもらうと、高橋さんの演技力と羽生結弦さんのジャンプ力を持った選手になることです。現在、ジュニア男子で4回転ジャンプを跳べる2人のうちの1人ですが、さらに技を磨き後輩に尊敬してもらえるようなスケーターになりたいです。そのため、毎日「ひょうご西宮アイスアリーナ」で3時間滑っていますし、あと1時間はバレエ、トレーニングに使っています。

—趣味は—

鉱石採集と風景画を描くことです。



勝利を見つめて

鉱石採集は小学校の4年から始めました。山や川で採集した石は現在約700個。夙川に出かけることもあります。一番の自慢は最近見つけた水晶の原石です。これを見つけた時、本人が一番びっくりしました(笑)。

—これからの目標は—

もちろん最終目標は、日本代表としてオリンピックに出ることですが、現在の目標はユースオリンピックに出されましたので、1月末に開催されるユースオリンピックで日本代表として恥ずかしくない演技をしていくことです。

●

垣内珀琉さんの座右の銘は「一心不乱」。力強い言葉を聞き、苦楽園からオリンピック選手が誕生することを確信しました。



大坂佳永



藤本寿々



生田結菜



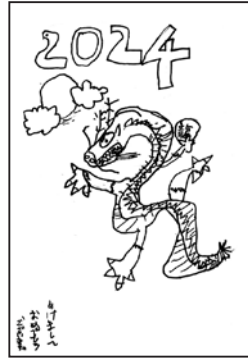
二階堂菜



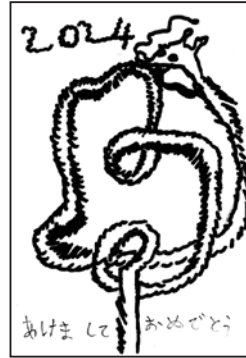
赤川史菜



亀山萌羽



前田菖杜



多田啓志



石川 杏



紙谷帆夏



白川怜佳



西田あん



増田喜唯



小濱竜佑



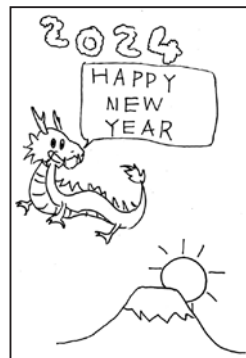
北島颯馬



生田煌芽



酒井良明



濱田佳凜



前田朗良

時間/曜日	月	火	水	木	金	土
8:30	○	○	○	/	○	○
12:00	○	○	○	/	○	○
15:45	○	○	○	/	○	○
19:00	○	○	○	/	○	○

休診/木曜午後・土曜午後・日曜・祝祭日

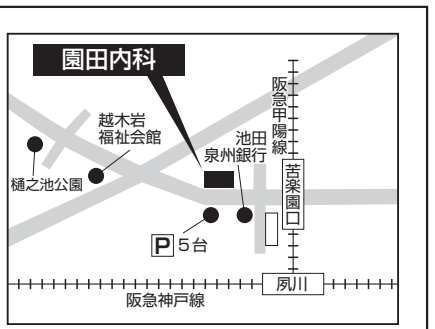
(電話) **0798-72-4601**(代)
<http://www.sonodanaika.com>

内科 胃腸科 循環器科

医療法人社団

園田内科

西宮市南越木岩町14-7
 阪急苦楽園口駅 西側徒歩約3分



苦楽園百景

苦楽園中学校

空色の阪急電車

村上 仁胡



最寄り

上田 蒼人



越木岩神社

笹 明日香



毎朝

松岡 楓



学校・地域一体の体育大会

県立西宮甲山高等学校

体育大会にふさわしい秋晴れとなった昨年9月29日、西宮甲山高校の体育大会が開催されました。生徒会種目の仮装リレーでは、担任の先生を見事に仮装させて快走。3年生学年種目の『ソーラン節』は、「感謝」をテーマに力強い迫力の舞でした。

地域の夙川宝プリスクールの園児たちが、汽車ポップで並んで入場、「かわいいう〜走れるの〜? 頑張つて〜」と場内からの声。園児たちは声援を受けて、グラウンドを半周するバトンリレーに参加。高校生からバトンを受けて走り、バトンを渡す。日課のマラソンで鍛えた庄巻の走りで大会を盛り上げていました。



リレーに参加した園児と高校生

ハロウィン仮装でお店屋さん

苦楽園子ども会

さわやかな秋晴れの空の下、苦楽園子ども会は昨年10月29日に豊楽公園で行われた「ひかりの実」バザールに仮装をして出店しました。「ひかりの実」は越木岩青年会が主催するイベントで、今回が3年目の開催。ハロウィンの時季に合わせて海賊やミイラ、悪魔の他に映画やゲームのキャラクターにふんじた子ども店員が客をもてなします。

苦楽園子ども会は「千本引き(ひもくじ)」を出店。ハズレなしで、景品はハロウィンキャラクターの雑貨。大人気で暗くなる前に完売御礼となりました。



大人気の千本引き

夕方になるにつれ冷えこみましたが、寒さにも負けず、元気いっぱい大きな声で呼び込みをしながらハロウィンナイトを楽しみ過ごしました。

初めての仮装運動会 ファミリースポーツデー

秋日和の下、苦楽園小学校の校庭で昨年10月14日、スポーツ&カルチャークラブ21苦楽園主催の「ハロウィン・ファミリースポーツデー」が行われました。今年初めての仮装運動会。仮装した子どもたちと保護者が参加しました。競技はチームに分かれて玉入れ、綱引き、棒リレー、障害物競走の4種目が行われました。綱引きが初体験の子どもは「手が痛かったけど頑張ったよ」と楽しく語りました。仮装者にはお菓子が配られ、「来年は何のコスチュームにしようかな」とうれしそうに話をする姿もありました。

大人も仮装をしての運動会、あつという間の2時間でした。来年はどんな仮装が披露されるのか、今から楽しみです。



楽しくがんばるぞ!